



上尾ロータリークラブ

2011-12年度RIテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



名取 勝 会長

第2415回 例会

2011.10.13

週報 No. 1900
発行 2011年10月20日

会長あいさつ

本日は、三國ガバナーと尾花ガバナー補佐をお迎えしての例会そしてクラブ協議会となっております。本日の例会では私のやっている仕事に関してのお話をしたいと思います。皆様ご存知かと思いますが、いま新聞やテレビ等でタイの洪水に関して報道されています。日本のシステム工業団地も被害にあっているそうです。丁度、私の息子が埼玉県の経営合理化協会の人達とタイに行っています。見学を予定している工場が見られぬと言っていました。日本からタイへ進出している企業は7000社ほどあるそうです。

大手企業をはじめ中小企業もたくさんあるそうです。とにかく日本の企業が海外に進出していて空洞化している状況です。一部ではこの空洞化を推奨する考え方もあって大きく企業の在り方が変わってきているなど感じております。

昨日、ロンドンで行われた技能オリンピックにて、久々に金メダルが11個、銀と銅が4個ずつで合計19個のメダルを獲得しました。これは久々の快挙ということで報道されていました。参加されている人たちはほとんどの方が大企業に勤めている方で、技能オリンピックは日本の技術力を世界にアピールするまたとない機会なのでこのニュースは我々にとって非常に嬉しい事だと感じています。日本の製造業の空洞化が進んでいるのですが、逆に考えると同じような仕事が恒久的に続くことはあまりないと思っています。世の中が変わっていくわけで色んな技術は生まれて外に広まっていきます。やはり新しいことを立ち上げ新しい形の製造業が必要になると思います。この新しいといふのはやはりレベルの高い技術力・技能力を狙っていかなければいけないと思います。

これから色んな分野が発展していくと思います。わが社もそういった部分に取り組みで取り残されないように勉強しているところです。

この後、三國ガバナーに卓話を頂きその後クラブ協議会を行います。本日もよろしくお願ひします。

- 会長 名取 勝
- 幹事 関口 和夫
- 副会長 島村 健
- 副幹事 齋藤 博重
- 編集責任者・
- クラブ広報委員長 深澤 圭司
- ビジターゲスト
- 第2770地区ガバナー 三國 明様
- 第2770地区ガバナー補佐 尾花 正明様
- 行事予定
- 10月25日 結婚・誕生祝い(時間変更)



AGEO ROTARY CLUB

幹事報告

関口和夫幹事

◆10月9日に秩父市吉田町の龍勢見学に行ってきました。打ち上げも成功して楽しい一日を過ごすことが出来ました。渡邊委員長にはこの場をおかりして御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



◆10月8、9日さいたま新都心でポリオ撲滅バザーを開催しました。私も参加して参りました。大木委員長を含め大勢の方に参加されてロータリーの活発な活動を私も感じる事が出来ました。

◆10月28日にインターアクト委員長会議がラフレさいたまにて開催されます。関係の委員長はご出席のほどよろしくお願ひします。

恵まれて100名を超えるロータリアンにご協力して頂きました。そして、大塚パストガバナーからお借りした鉄板が大活躍して焼きそばの売上とバザーの売上が合わせて100万を大きく超える数字が出ました。

去年より多くポリオの撲滅資金になると思います。また、東日本大震災の募金もたくさん集まりましたのでこれも合わせて募金をしたいと思います。皆様の協力ありがとうございました。

卓話

第2770地区ガバナー 三國 明様

上尾ロータリークラブの皆様こんにちは、本日はガバナーの職責として訪問させて頂きました。久しぶりに上尾にて大変懐かしいと感じております。初めて上尾に来た時は会場がわからずたまたま立ち寄った薬局が上尾クラブに在籍している岡野会員の足立屋薬局様でした。非常に懐かしく思います。通い慣れた道を久しぶりに通って来ました。



それでは本年度のRIの活動方針そして私たち2770地区の活動方針について説明させて頂きます。上尾市といえますと大変歴史のある町でございます。私は特に上尾から桶川、鴻巣までの旧街道がとて好きです。

ところどころに古い建物があってガバナー職が終わったならば、中山道を隅々まで歩いてみたいと思います。いまでは東京のペットタウンとして巨大な都市になりましたしそれに大きな会社もたくさんございます。地区チーム研修セミナーではなんとと言っても大塚パストガバナーには大変お世話になりました。私と大塚パストガバナーは北年度の同期でございます。

そしてガバナー補佐の尾花さんにも大変お世話になっています。その他たくさんの方に地区を支えてもらっています。

委員長報告

親睦活動委員会 渡邊清委員長

先ほど幹事からご報告がありました通り10月9日に日帰りの親睦旅行に行ってきました。ニュースや新聞にて気づいた方もいらっしゃると思いますが、秩父の龍勢打ち上げを見てきました。総勢15名の参加を頂き楽しい一日を過ごすことが出来ました。次回の親睦の事業につきましては12月23日のクリスマス例会になります。皆様よろしくお願ひします。



地区財団委員会 大木保司委員長

先ほど関口幹事からもご報告がありました。10月8、9日にポリオ撲滅チャリティーバザーが行われました。両日共に天候に恵まれ



AGEO ROTARY CLUB

今年はPETSが終わった直後に東日本大地震が起きましたこの時も計画停電に見舞われ活動が出来ないのではないかと心配していましたが、なんとか開催することが出来ました。

先だってニューオーリンズの国際大会に行った時の田中作治氏の会長受託演説は素晴らしかったなと思いました。また各国から青少年交換留学生が来て頂き大合唱をしてもらった事を今でも鮮明に覚えています。

その時、やはりロータリーは世界のひとつのだなど実感できました。

本年度のRI会長のカルヤン・パネルジー会長はインドの出身で若いころはマザー・テレサと一緒に奉仕活動をした経験がございます。そして、ロータリーに入ってから色んな重要な役目を果たして現在の会長の地位にあります。

本年度のRIのテーマは「こころの中を見つめよう博愛を広げるために」です。

先日、RIのホームページを見ておりましたら田中作治さんが司会をしてパネルジー会長が日本のロータリーの皆様へというテーマでスピーチをしておりました。

その中でパネルジー会長は3つの事を強調していました「家族・継続・変化」です。明るく家庭はまず全ての基礎でありそしてその人達が集まって素晴らしい地域を形成していつて国家となれば世界の平和に一歩踏み出すことが出来るという考え方です。

継続として我々は6年間掛けて先輩方と奉仕活動を継続し哲学的な施策も研究してきました。我々がやってきた良い事そして得意とする事を継続しながら次のステップに進んでいこうという考え方です。

私たちの先輩は106年前からロータリー活動をしてきました。大体言いますとこれまでロータリーで奉仕活動したロータリアンは累計で7000万人と言われております。

少し想像でお話をしますが、我々の背中に7000万人のロータリアンがいてそしてロータリー活動は106年間続いています。

この事を見ただけでも我々は今の状態がどうであろうともプライドを持って熱くロータリーを語り合おうではありませんか自信を持って奉仕活動に打ち込んでいきたいと私は思っています。

そして変化これは継続とは相容れない言葉と思われませんが、この10年で国際ロータリーも変わり世の中も変わっています。世界の片隅で起きた出来事が瞬時にして広まっていく時代になりました。ポール・ハリスも「我々は時代の変化についていけないといけな、ロータリーの歴史は何度も書き換えられなければいけない」と言っておりました。そして、この世の中の変化、ロータリーの変化そういうもの陣頭に立って動いていかなければいけないという考え方です。

皆様ご存知の通りRIの長期計画としてクラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と強化、公共イメージと認知度の向上が挙げられています。これは我々の先輩が106年間かけてやってきた色々な哲学的な施策そして奉仕活動を細かく分析すると3本の柱になります。

まず1つめのクラブのサポートと強化ですが、これは増強の言葉に尽きると思っています。会員を増やしてクラブを強化する事に地区、RIが全力で取り組む必要があります。

2つめの人道的奉仕の重点化と強化ですが、これは我々の先輩がロータリーを作った時はまず親睦、職業的な互恵もありませでした。やがて社会奉仕という考え方が出てきていた人道的奉仕を世界的にやっていく形になってきました。

そして、20年以上前からポリオ撲滅に取り組んでいます。この活動についてロータリーのイメージ、ブランドを確立して活動していこうという試みがあります。

3つめの公共イメージと認知度の向上ですが、我々の活動が良いことがあったのならそれを正しく世間にお伝えしようという考え方でございます。本年度のRI会長賞取得には簡単に言いますと財団にどれだけ寄付をしたか、会員増強をどれだけやったかによってクラブを表彰しようとしています。

財団につきましては第一項にあります。全てのメンバーが何かしらの寄付に参加するとあります。私たちの地区では全部で2万円となっています。会員増強についてですが、純増1名でございます。

そして第2のRI会長賞といつていいチェンジメーカー賞は5つの奉仕部門において効果的でバランスとれた奉仕活動をしたクラブを表彰するというシステムでございます。

この春にRIが提唱してきた4つの新しい試験的ロータリーですが、1つめの準会員の試験的ロータリークラブですが八潮リビングロータリークラブが手を挙げて認可されています。話しによるともう5人ほど準会員が集まっています。ロータリー活動に参加してもらった準会員の方にはもしよかった会員になって頂くというシステムでございます。

ポール・ハリスの言葉ですが100年前にすでにロータリーの歴史は何度も書き換えられる。そして洗礼と言葉ほど信仰を因るものはないと仰っていました。また地域、社会が世界を変えようとするのではなく自分自身が変わらなければならない。そして、自分がその変化の担い手にならなければならないとも仰っていました。

地区の活動についてですが、まずなんと云っても東日本大震災の復興支援それから会員減少です。井橋年度において会員減少にストップが掛かりました。私はもっと弾みをつけて2770名まで漕ぎ着けたいと思っています。皆様にもご協力をお願いしたいと思います。また、重点項目として明日を担う若者に対する奉仕活動がございます。

| | | | | |
|----|-----|----|-----|-------|
| 出席 | 会員数 | 39 | 出席数 | 26 |
| 欠席 | 欠席数 | 13 | (%) | 66.67 |

| | | |
|--------|-----|---------------|
| 前々回確定 | 欠席数 | 9 |
| 修正 (%) | | 76.92 (M・U) 7 |

ガバナー補佐のIM計画にあります。たすきのリレーに若者が参加してほしい。そしてリレーに参加できる若者を育成したいと思っています。ここでお願いしたいのは青少年交換にご協力していただきたい事と被災地の高校生で3.11以降に就職の内定を取り消された青少年がいっぱいいますので、支援の手を差し伸べたいと思います。

そして大塚年度から始まったロータリーの綱領の唱和もしっかりと守っていききたいと思います。先日、福島県の浜通り会の会長、幹事、副幹事がガバナー事務所いらっしやいました。そこで色々な支援について情報交換をさせて頂きました。その時に言っていました。はつきり言って支援物資はもういいそうです。もしロータリアンがやってくれるなら中長期的視点にたった支援プロジェクトをやってほしいと言っていました。

具体的には住環境の改善、若者の就職支援、福祉関係の支援がテーマとしてふさわしいのではないかと感じています。

上尾ロータリークラブ様も会員の増強をして50周年に向かって勢いをつけて頂きたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

スマイル 75,000円

- 名取会長 三國ガバナーようこそ
- 関口幹事 三國ガバナーようこそ
- 島村副会長 三國ガバナーようこそ
- 大塚パストガバナー 三國ガバナーようこそ
- 大塚直前会長 三國ガバナーようこそ
- 三國 明ガバナー 本日は公式訪問でお世話になります。
- 尾花 正明ガバナー補佐 公式訪問準備ご苦労様でした。
- 富岡副会長 三國ガバナーようこそ

井上会員 野淵会員 深澤会員 渡邊会員 岡野会員 竹内会員 富永会員
横山会員 金澤会員 齋藤(重)会員 神田会員 武重会員 齋藤(哲)会員
久保田会員 藤村会員 細野会員 大木会員 吉川会員

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 東武ハンケットホール(ポリアス)

事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

TEL/FAX 048-775-7788

発行元 KWS 津野泰之

